

APClient モード設定マニュアル

APClient モードの設定には、無線 LAN・モバイルルーター等の仕組みをご理解いただいていることが前提となります。設定するにあたり、無線 LAN 対応のパソコンが必要ですのでご準備ください。ドコモ HW-02E を例に説明いたしますが、事前にご利用予定のモバイルルーター、無線親機等の設定内容をご確認ください。特に MVNO の SIM を **ドコモのスマホを使ってテザリング** を検討している場合は、ドコモの仕様により MVNO では使えない場合がございます。また iPhone でのテザリングは現時点では利用できません。一部の SIM フリースマホにて確認はしておりますが、すべての機種で動作を保証するものではありません。

1. 親機として接続するモバイルルーターにログインし、IP アドレス等を調査します。(確認方法のご利用機器の説明書でご確認ください)



2. メール送信機には親機 (モバイルルーター) の DHCP で設定されている範囲以外の IP を推奨します。



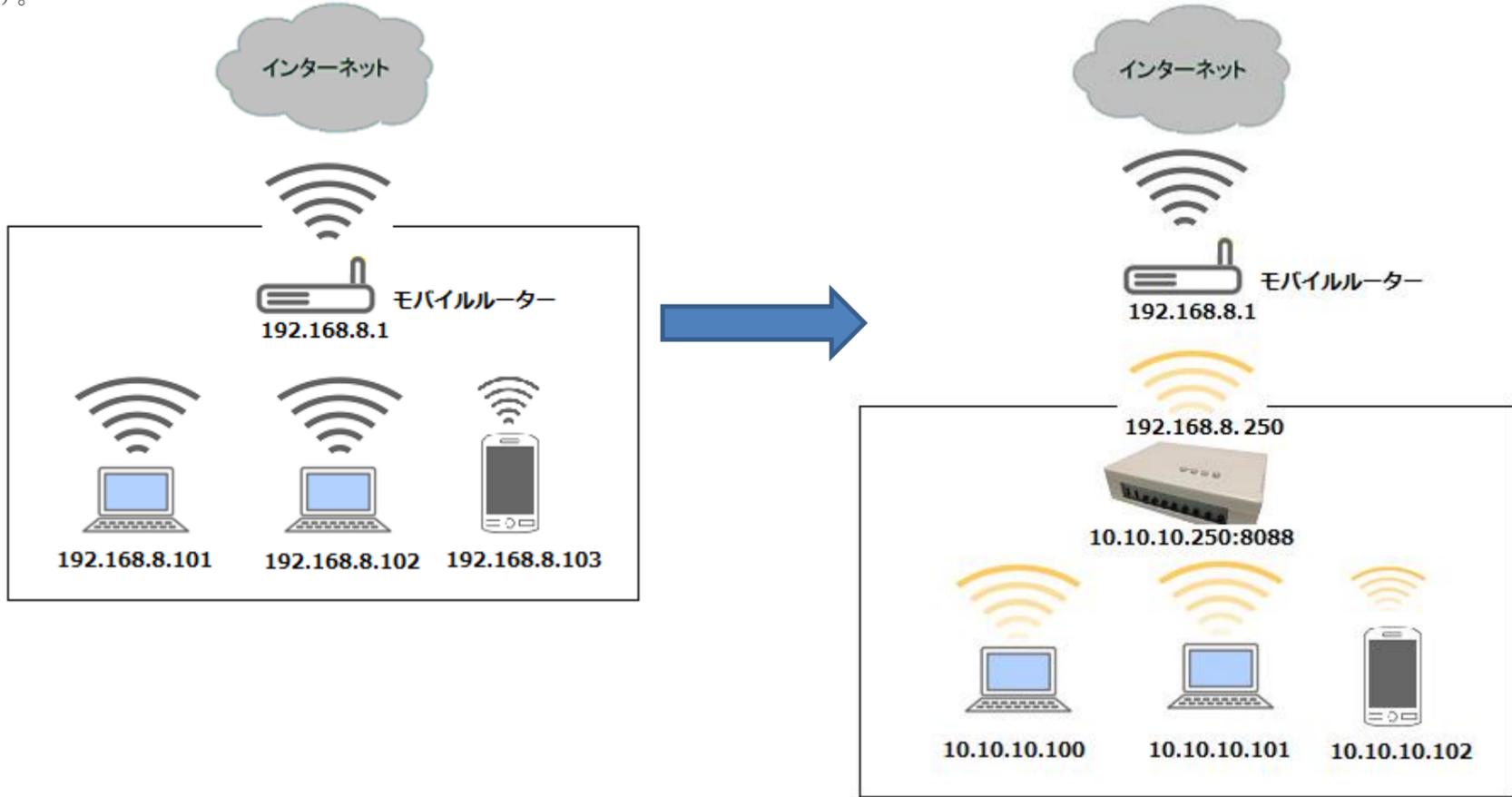
3. SSID や暗号方法を確認します。



4. 調査して以下にお控えください

無線ルーター親機の IP アドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ (通常はルーターの IP)	DNS アドレス IP (通常はルーターの IP)
.

5.下図のようなモバイルルーター（192.168.8.0/24）のネットワークに、APClient モードでメール送信機と接続し、設定パソコンは Wi-Fi でメール送信機と接続します。



6.本設定では、4 で控えた以下の内容を元に設定いたしますので、実際にはご自分のネットワークに置き換えて設定してください。

ルーターの IP アドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ (通常はルーターの IP)	DNS アドレス IP (通常はルーターの IP)
192.168. 8.1	255.255.255.0	192.168. 8.1	192.168. 8.1

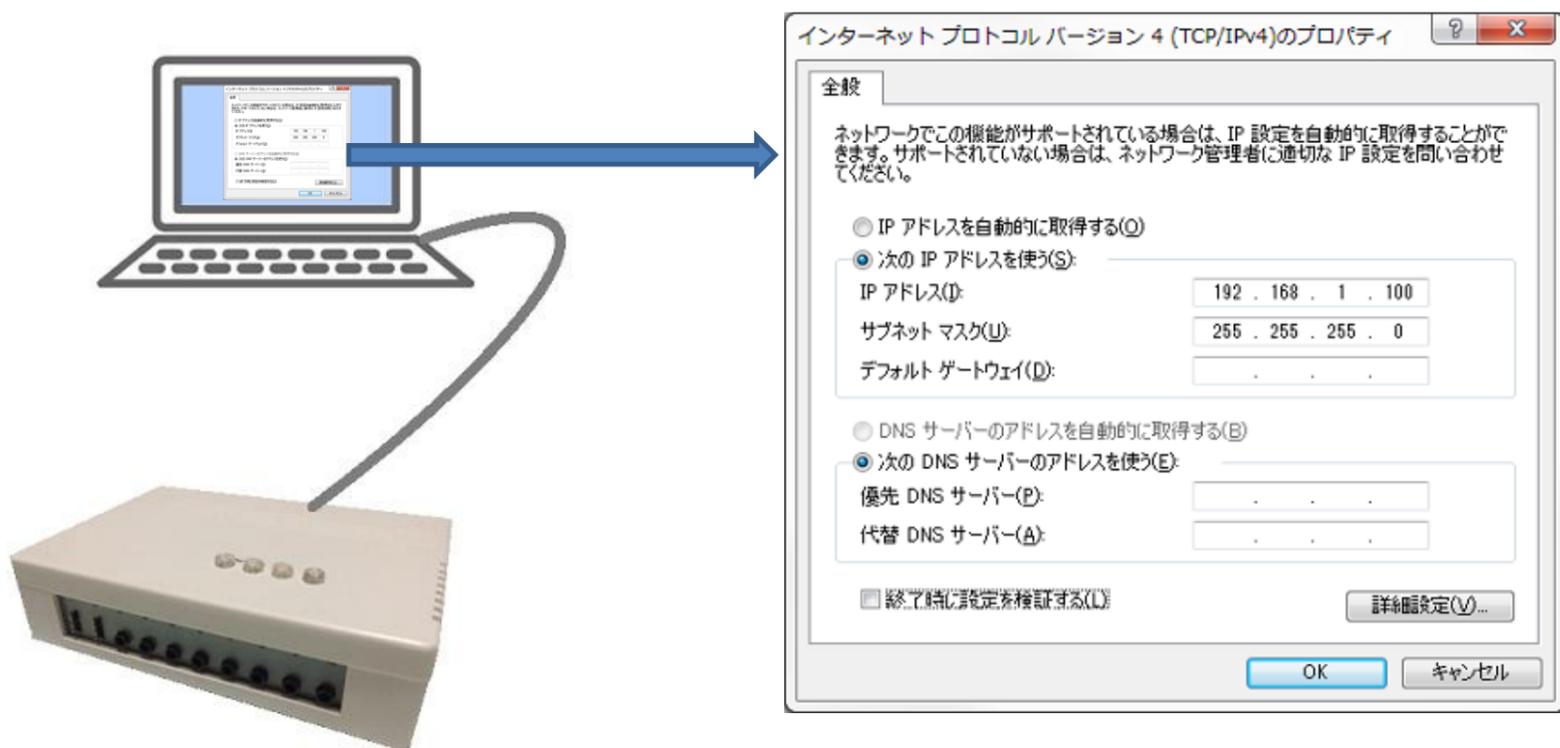
7.モバイルルーターを調査した上で、メール送信機の WAN 設定には以下の IP アドレスを設定します。

メール送信機の WAN 側 IP アドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ (通常はルーターの IP)	DNS アドレス IP (通常はルーターの IP)
192.168. 8.250	255.255.255.0	192.168. 8.1	192.168. 8.1

8.メール送信機には何も接続せず、PoE 接続または付属の試供品 AC アダプターまたは **5V で極性が  の AC アダプター** を接続してから電源を入れます。
※電源の電圧違いや極性違いによる故障は保証の対象となりませんのでご使用する AC アダプターは十分ご注意ください。

9.メール送信機には、初期値として 192.168.1.250:8088 のアドレスが設定されていますので、実際の環境に合わせるために変更します。

10.設定に使用するパソコンとメール送信機を下図のように LAN ケーブルで直接接続し、パソコンの IP アドレスを 192.168.1.100 のように 192.168.1.250 以外に設定します。



11.設定したらインターネットエクスプローラー等を使って <http://192.168.1.250:8088> へアクセスします。

12.初期ユーザー名「admin」とパスワード「admin」を入力し管理画面にログインします。

13.ログインすると下記の設定画面が表示されます。(表示されない場合は、IP アドレスを確認の上、キャッシュと Cookie を削除して再度アクセスしてください。)

[Open All](#) | [Close All](#)

- Automatic mail transmitter
 - 動作モード
 - 基本設定
 - ワイヤレス設定
 - トリガー設定
 - システム管理

詳細項目を表示するには「Open All」をクリックします。

監視停止中

[お知らせ](#)

14.Wi-Fi 基本設定の状態を確認し、「Wi-Fi OFF」になっている場合は「Wi-Fi ON」にチェックを入れ「Apply」をクリックします。自動的に再起動しますので、「Apply」の文字の色が復帰するまで 60 秒程度そのまま待機します。

[Open All](#) | [Close All](#)

- Automatic mail transmitter
 - 動作モード
 - 基本設定
 - ワイヤレス設定
 - Wi-Fi基本設定
 - セキュリティ設定
 - Wi-Fiインターネット設定
 - WPS
 - 認識中のWi-Fi機器一覧
 - トリガー設定
 - システム管理

基本ワイヤレス設定

ネットワーク名(SSID)とチャンネル等の最小限の設定項目で本機を無線LANの親機としての設定を行います。

ワイヤレスネットワーク	
Wi-Fi Switch	<input checked="" type="radio"/> Wi-Fi ON <input type="radio"/> Wi-Fi OFF
ネットワークモード	11b/g/n mixed mode
ネットワーク名(SSID)	RalinkInitAP_030D50 <input type="checkbox"/> Hidden
Broadcast Network Name (SSID)	<input checked="" type="radio"/> Enable <input type="radio"/> Disable
Frequency (Channel)	自動設定

15.本機の初期設定では、Wi-Fi のパスワードが設定されていませんので、有効にした場合は**必ず暗号化とパスワードの設定をしてください。**

[Open All](#) | [Close All](#)

- Automatic mail transmitter
 - 動作モード
 - 基本設定
 - ワイヤレス設定
 - Wi-Fi基本設定
 - セキュリティ設定
 - Wi-Fiインターネット設定
 - 認識中のWi-Fi機器一覧
 - トリガー設定
 - システム管理

ワイヤレスセキュリティ

不正アクセスから防ぐ無線セキュリティおよび暗号化、およびモニタリングの設定。

SSIDの選択	
SSID選択	RalinkInitAP_ []
"RalinkInitAP_030D50"	
セキュリティモード	WPAPSKWPA2PSK
WPA	
WPAのアルゴリズム	<input type="radio"/> TKIP <input type="radio"/> AES <input checked="" type="radio"/> TKIPAES
パスフレーズ	[]
Key Renewal Interval	3600 seconds (0 ~ 4194303)

16.WAN 設定で無線親機と接続できるように、IP アドレスを使用者様の無線ネットワークに合わせるため変更します。(ポート番号の 8088 は変更できません)

[Open All](#) | [Close All](#)

- Automatic mail transmitter
 - 動作モード
 - 基本設定
 - WAN設定
 - 無線LAN設定
 - メール設定
 - メールアドレスリスト
 - ワイヤレス設定
 - トリガー設定
 - システム管理

WAN設定

ご利用環境に適した接続タイプを選択することができます。選択した接続タイプ毎にパラメータを設定することもできます。

コネクションタイプ:

スタティックモード	
IPアドレス	192.168.8.250
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.8.1
プライマリDNSサーバアドレス	192.168.8.1
セカンダリDNSサーバアドレス	192.168.8.1

「Apply」をクリックすると、メール送信機が自動的に再起動し、設定した 192.168.8.250 に変更されます。親機とうまく接続できない場合は「自動接続」でお試してください。
IP アドレスを間違えるとアクセスできなくなります ご注意ください。

17.パソコンのネットワーク設定を「IP アドレスを自動的に取得する」に戻し、パソコンから SSID を確認し無線 LAN でメール送信機と接続します。

インターネットエクスプローラー等を使って、http://10.10.10.250:8088 へアクセスします。

初期ユーザー名「admin」とパスワード「admin」を入力し管理画面にログインします。

18. モバイルルーター経由でインターネット接続するために、動作モードを AP Client モードへ変更し、スキャンボタンをクリックすると認識した無線 LAN 親機が表示されます。 複数見つかった場合は、目的の SSID (HW02E) を選択し「OK」をクリックします。

[Open All](#) | [Close All](#)

- Automatic mail transmitter
- 動作モード
- 基本設定
- ワイヤレス設定
- トリガー設定
- システム管理

動作モード設定

自分の環境に適した動作モードを設定できます。

- ゲートウェイ:
初期のイーサネットポートはWANポートとして扱われます。他のイーサネットポートと無線インターフェースはブリッジであり、LANポートとして扱われます。
- AP Client:
無線APクライアント・インターフェースはWANポートとして扱われます。また、無線APインターフェースおよびイーサネットポートはLANポートとして扱われます。

スキャンAP

スキャンAPリスト					
SSID	MAC	シグナル(%)	Channel	セキュリティモード	選択
HW02E-██████	90:██████	29	3	WPA1PSKWPA2PSK/TKIPAES	<input checked="" type="radio"/>
10:██████	10:██████	50	11	WPA1PSKWPA2PSK/TKIPAES	<input type="radio"/>

OK Cancel

19. 目的の SSID のパスワードを入力し「Apply」をクリックしモバイルルーターとのペアリングを完了します。

[Open All](#) | [Close All](#)

- Automatic mail transmitter
- 動作モード
- 基本設定
- ワイヤレス設定
- トリガー設定
- システム管理

動作モード設定

自分の環境に適した動作モードを設定できます。

- ゲートウェイ:
初期のイーサネットポートはWANポートとして扱われます。他のイーサネットポートと無線インターフェースはブリッジであり、LANポートとして扱われます。
- AP Client:
無線APクライアント・インターフェースはWANポートとして扱われます。また、無線APインターフェースおよびイーサネットポートはLANポートとして扱われます。

スキャンAP

スキャンAPリスト					
SSID	MAC	シグナル(%)	Channel	セキュリティモード	選択
HW02E-██████	90:██████	29	3	WPA1PSKWPA2PSK/TKIPAES	<input checked="" type="radio"/>
10:██████	10:██████	50	11	WPA1PSKWPA2PSK/TKIPAES	<input type="radio"/>

OK Cancel

APクライアント・パラメーター	
SSID	HW02E-██████
MAC Address (オプション)	90:██████
Frequency (Channel)	3
セキュリティモード	WPA1PSKWPA2PSK/TKIPAES
Pass Phrase	<input type="text" value="設定したパスフレーズ"/>

NAT有効:

TCPタイムアウト:

UDPタイムアウト:

Apply Cancel

20. メール送信機が再起動したら、以下の画面で IP アドレスがきちんと設定されているかを確認し、メール送信機配下のネットワーク (10.10.10.0/24) からインターネットへ接続ができるかかくにんしてください。

[Open All](#) | [Close All](#)

- Automatic mail transmitter
- 動作モード
- 基本設定
 - WAN設定
 - 無線LAN設定
 - メール設定
 - メールアドレスリスト
- ワイヤレス設定
- トリガー設定
- システム管理
 - 情報
 - 管理
 - インポート/エクスポート
 - ファームのアップグレード

システム情報

本機のシステム情報と動作状況の確認ができます。

システム情報	
ファームウェアバージョン	V9.94 (Jan. 27 2016)
動作モード	AP Client Mode
システム稼働時間	2 mins, 28 secs
接続タイプ	STATIC
WAN IPアドレス	192.168.8.250
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.8.1
プライマリDNS	192.168.8.1
セカンダリDNS	192.168.8.1
MACアドレス	00:██████

21. APClient モードの設定以外の各種設定は、有線接続の設定方法をご覧ください。